

鷹南学園三鷹市立中原小学校 建替計画に関する提言書

令和7年3月

三鷹市立中原小学校建替検討委員会

● 目次

はじめに	1
1. 学校づくりの基本コンセプト	
(1) 基本コンセプト	3
(2) 基本コンセプト概念図	4
(3) 3つの空間・3つの特性	5
(4) 意見・要望の概要	7
(5) 9つの柱	10
(6) 敷地利用の考え方	16
2. コンセプト提言までの検討経緯	
(1) 検討委員会	18
(2) その他	20
《検討委員一覧》	21
【資料編】	
• 参考資料 1. 意見・要望一覧	
(1) 検討委員会	
・第2回検討委員会 グループワーク	参考資料 1-1
・第3回検討委員会 グループワーク①	参考資料 1-6
・第3回検討委員会 グループワーク②	参考資料 1-9
・第4回検討委員会 グループワーク	参考資料 1-12
・第5回検討委員会 グループワーク	参考資料 1-14
・第5回検討委員会 グループワーク資料	参考資料 1-16
(2) 教職員	
・教職員グループワーク①	参考資料 1-18
・教職員グループワーク②	参考資料 1-22
(3) 児童	
・令和5年度 6年児童アンケート	参考資料 1-25
・令和6年度 児童アンケート	参考資料 1-26
• 参考資料 2. ニュースレター（検討委員会報告書）	
・なかこれ1号	
・なかこれ2号	
・なかこれ3号	
・なかこれ4号	
・なかこれ5号	

はじめに

この度、三鷹市立中原小学校（以下、中原小学校）の老朽化等に伴い、令和12年度の新校舎開校を目指して、建替えに向けた検討が始まりました。

そこで、今後、三鷹市（以下、市）が策定する建替えの基本プランに関して、学校関係者、保護者、地域住民の意見を反映してもらうため、「三鷹市立中原小学校建替検討委員会（以下、検討委員会）」が設置されました。検討委員会は、三鷹市立中原小学校職員、PTA代表者、地域コーディネーター、周辺自治会や協議会などの代表者、19名によって構成される組織です。

令和6年度は、最新の学校建築に関する講義やワークショップ等を実施し、建替えに関する知識・理解を深めてきました。

また、提言書の参考とするため、中原小学校の児童や教職員にもアンケートやグループワークを実施し、様々な意見を集約・整理してきました。

この度、提言書がまとまりましたので、本書のとおり提言いたします。

今後、建替えによって、中原小学校が「学びの空間」「生活の空間」「地域交流の空間」を持つ学校として整備され、安心・安全な環境のもとに、子どもたちがいきいきと学び、また地域とつながるプラットフォームとなることを願っています。

三鷹市立中原小学校建替検討委員会





中原小学校のモニュメント：はちのすけ

1. 学校づくりの基本コンセプト

(1) 基本コンセプト

自分の「すき」を見つけられる場所

新しい中原小学校の建替えにあたり、
地域の未来を担う子どもたちにとって、
自分の「すき」を見つけられる場所となることを願い、
基本コンセプトを掲げました

「すき」という言葉の意味には、趣味や特技に繋がることだけではなく、
楽しいと感じること、人と繋がれることや、苦手なものに気づくことなど、
自分らしさを見つけることが含まれています

そこは、子どもたちが横断的な学びや、
最先端の技術、地域の知恵と出会い、
自発的な学びにつながる「すき」を見つけられる場所

みんなとワイワイ過ごすこと、ひとりでゆっくりできること、
一人ひとりの自分らしさに合わせて、
安心できる「すき」を選択できる場所

子どもたちの成長を見守り、多様で豊かな体験を共有しながら、
大人にとっても「すき」を共有し、交流できる場所

そこでは、子どもは大人の姿を見て学び、
大人は子どもの活動を見守り、
お互いに目線も心もつながることで、
地域全体の発展につながっていく

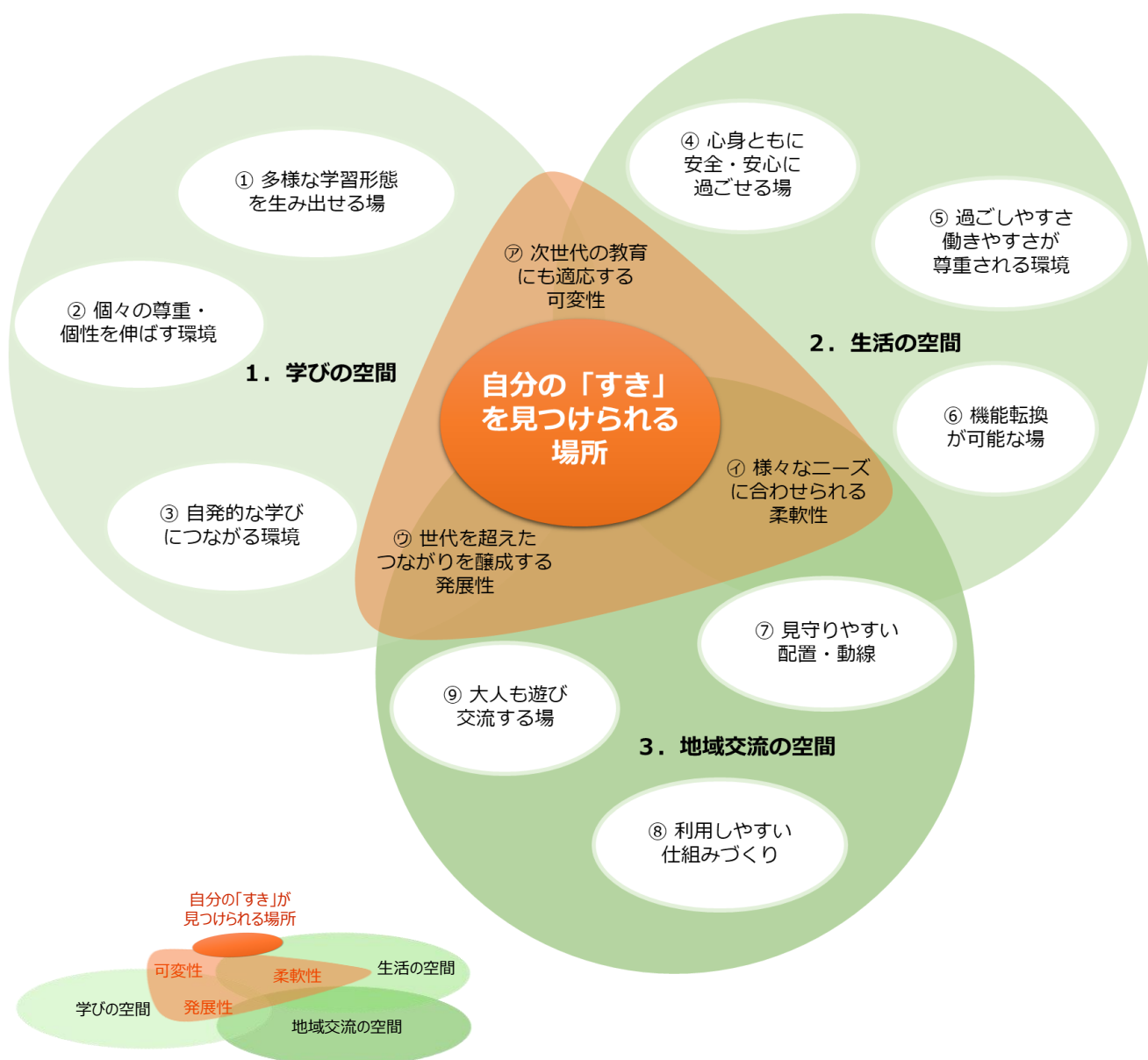
このような学校づくり、地域づくりを目指し、
魅力的な学び舎を創り上げることを目標としています

(2) 基本コンセプト概念図

自分の「すき」を見つけられる場所は、土台がしっかりすることで保障されます。ここで土台と考える内容は、1. 学びを深め広げる「学びの空間」、2. 多様性や個性を尊重し、日々の活動を支える「生活の空間」、3. 地域に見守られ、地域との交流を支える「地域交流の空間」の3つの空間としました。

そして、いずれの空間においても、㉞：次世代の教育にも適応する可変性、㉟：様々なニーズに合わせられる柔軟性、㊱：世代を超えたつながりを醸成する発展性、を備えていることで、学校での活動や地域が持続可能となると考え、3つの特性と位置付けました。

新しい中原小学校が、コンセプトを実現し、かつ地域に根差し、心の拠り所として在り続けるために3つの空間、3つの特性を設定します。



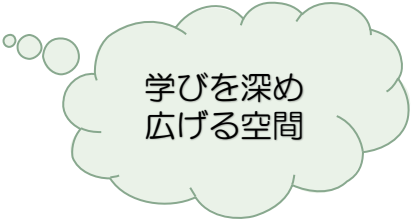
(3) 3つの空間・3つの特性

■ 3つの空間

自分の「すき」が見つけれられる場所は、「学びの空間」「生活の空間」「地域交流の空間」の3つの空間が土台となり、創り上げられます。

1. 学びの空間

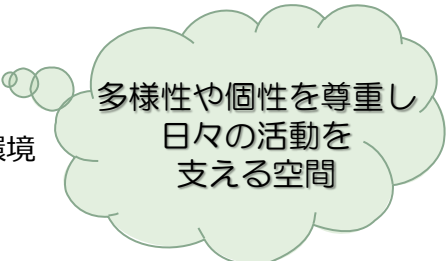
- ① 多様な学習形態を生み出せる場
- ② 個々の尊重・個性を伸ばす環境
- ③ 自発的な学びにつながる環境



学びを深め
広げる空間

2. 生活の空間

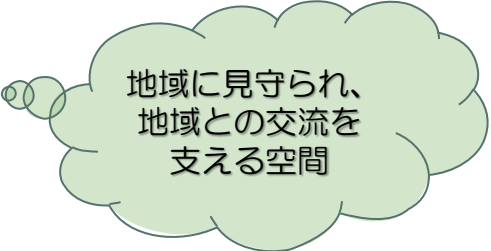
- ④ 心身ともに、安全・安心に過ごせる場
- ⑤ 過ごしやすさ、働きやすさが尊重される環境
- ⑥ 機能転換が可能な場



多様性や個性を尊重し
日々の活動を
支える空間

3. 地域交流の空間

- ⑦ 見守りやすい配置・動線
- ⑧ 利用しやすい仕組みづくり
- ⑨ 大人も遊び交流する場

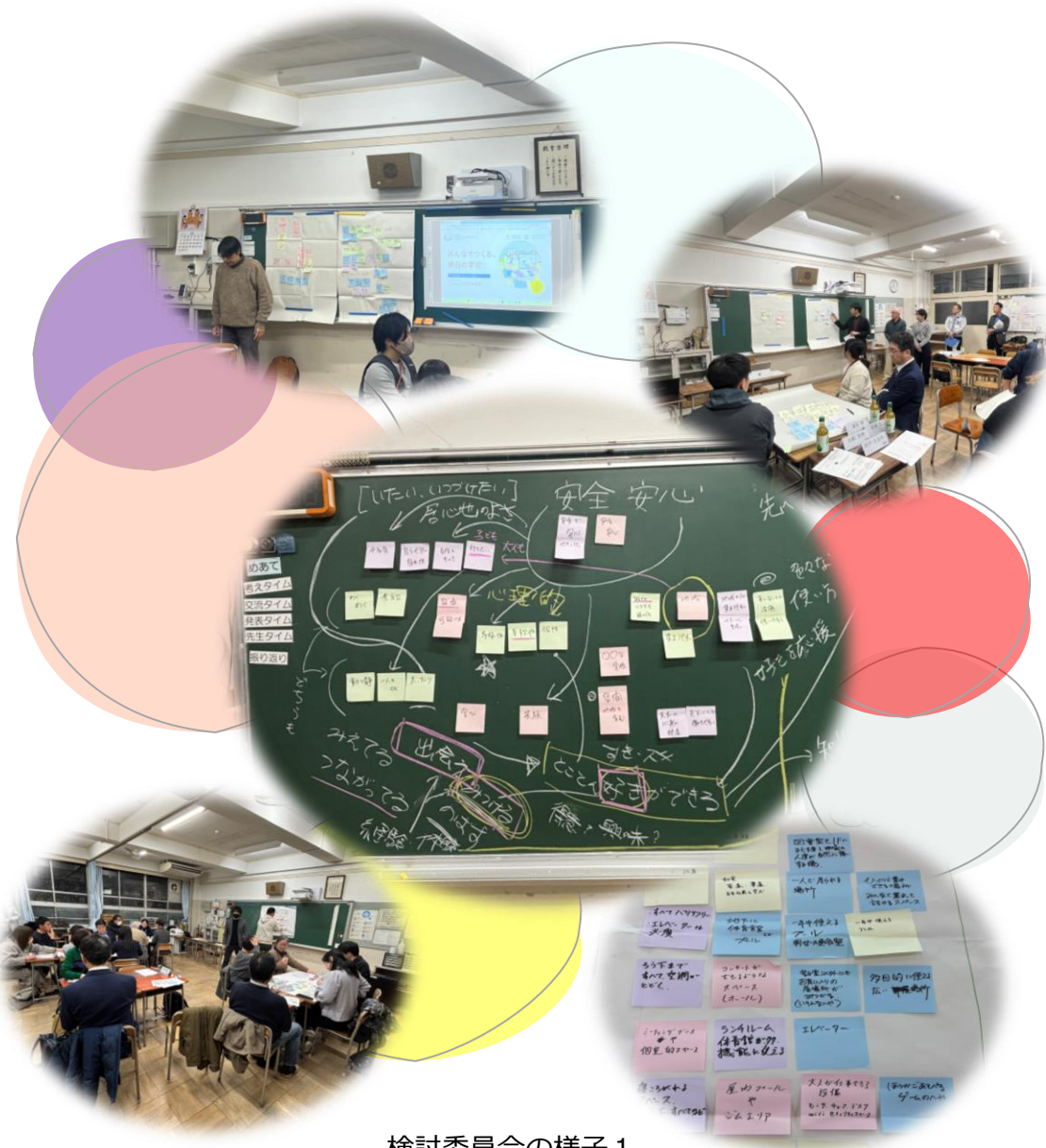


地域に見守られ、
地域との交流を
支える空間

■ 3つの特性

先の3つの空間が、いつまでも続く地域の共有地「コモンズ」となるために、以下3つの特性を備えているものとします。

- ㊦ 次世代の教育にも適応する**可変性**
- ㊧ 様々なニーズに合わせられる**柔軟性**
- ㊨ 世代を超えたつながりを醸成する**発展性**



検討委員会の様子 1

(4) 意見・要望の概要

コンセプトは、建替え検討の軸となる考え方です。児童・職員・地域住民にとって望まれる学校となるために、コンセプトには皆の意見や要望が集約されていることが、必要不可欠な条件であると考えました。

提案に至るまで、検討委員会では最新の学校建築に関する講義やワークショップ等を実施し、建替えに関する知識・理解を深めてきました。特にグループワークでは、新しい中原小学校の望む姿に対して、様々な意見や要望を出し合い、議論を重ねてきました。

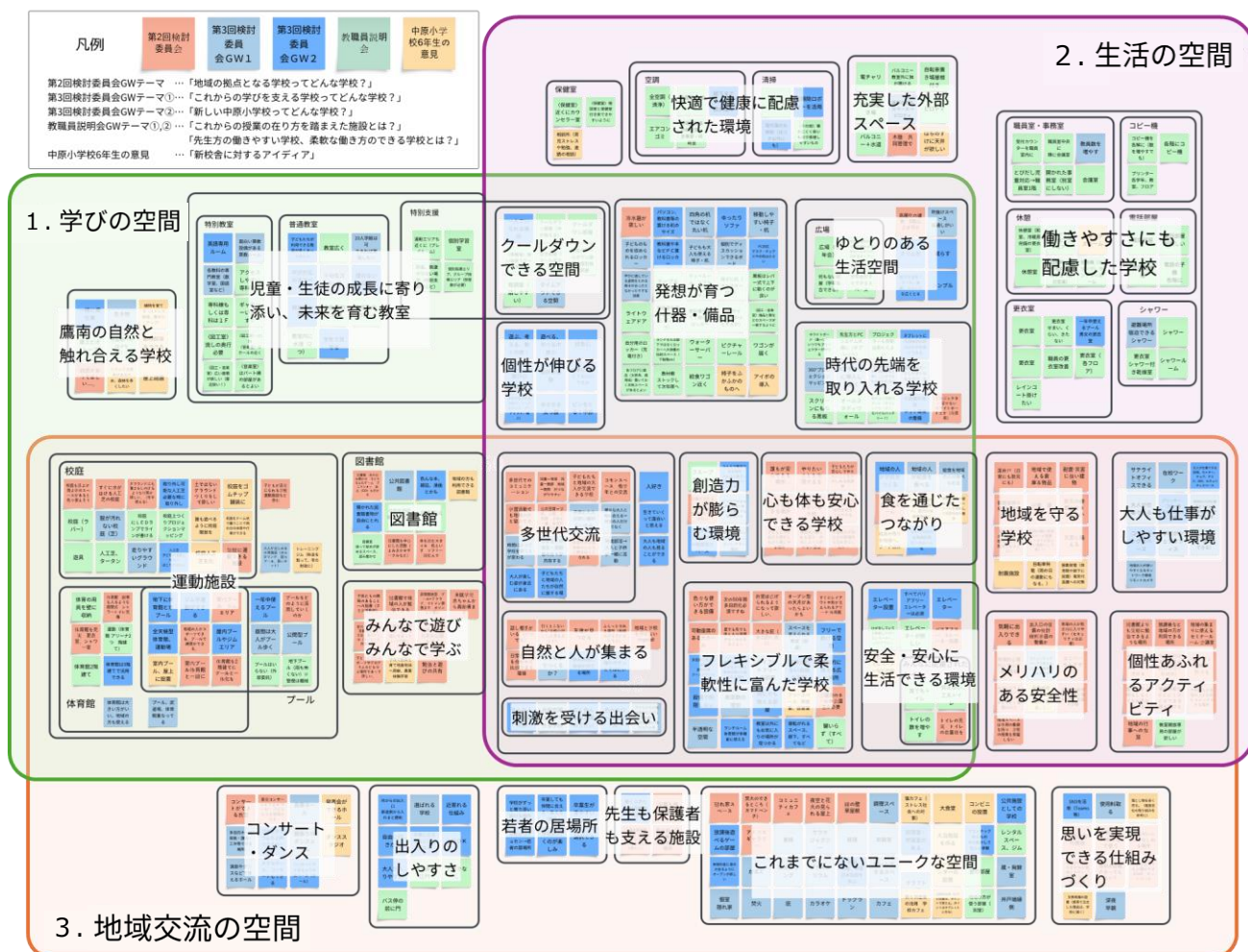
また、検討委員会の意見のみならず、中原小学校職員、児童アンケートの結果も併せて検討し、より多くの意見を集約することに努めました。

それぞれの意見・要望を「学びの空間」、「生活の空間」、「地域交流の空間」という視点においてグルーピングした全体概要図を以下に示します。

本概要図の意見・要望を基に、それぞれの空間を支えるための具体的な施設づくりの方針を検討し、コンセプトに反映させました。

なお、各意見や要望の詳細は、巻末の参考資料を参照ください。

● 全体まとめ 概要図

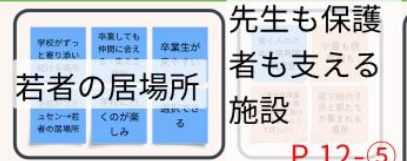
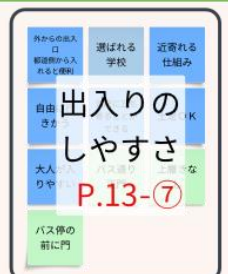
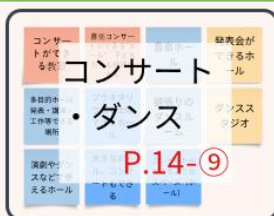
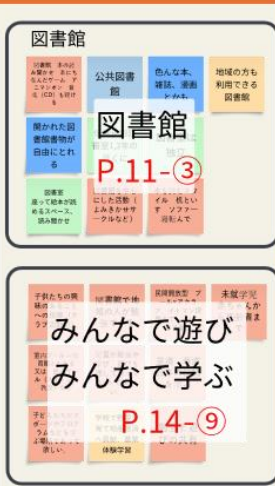
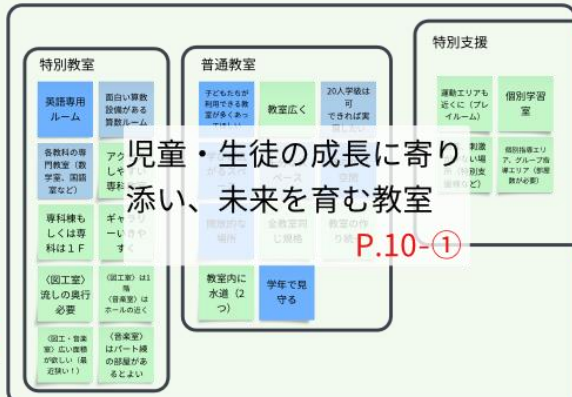


【概要図】意見・要望等全体のグルーピング

● 全体まとめ_概要図【拡大版】



1. 学びの空間



3. 地域交流の空間

(5) 9つの柱

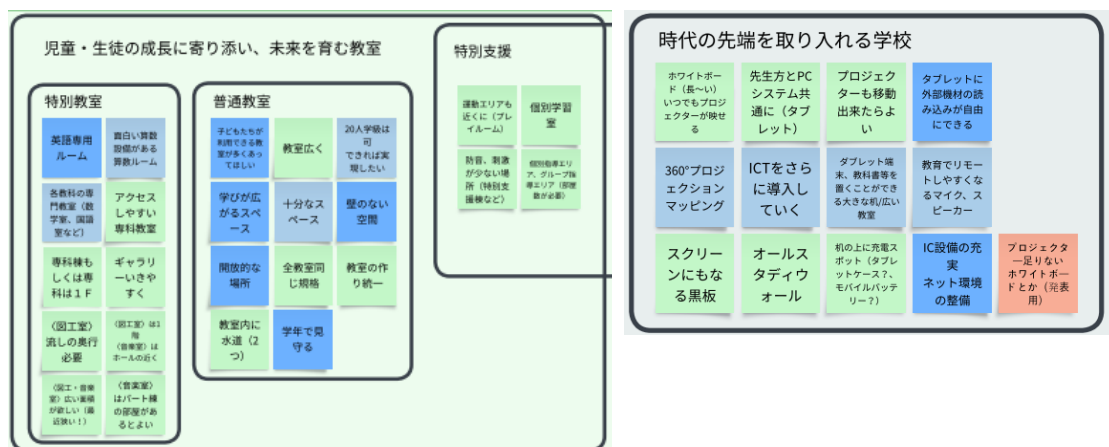
コンセプトの土台である「学びの空間」「生活の空間」「地域交流の空間」を支えるための方針を「9つの柱」と名付け、それぞれの具体策を提案します。

それぞれの柱には、検討委員会や教職員によるグループワーク、児童のアンケートから収集された、様々な意見や要望が集約されています。

① 多様な学習形態を生み出せる場

1. 学びの空間

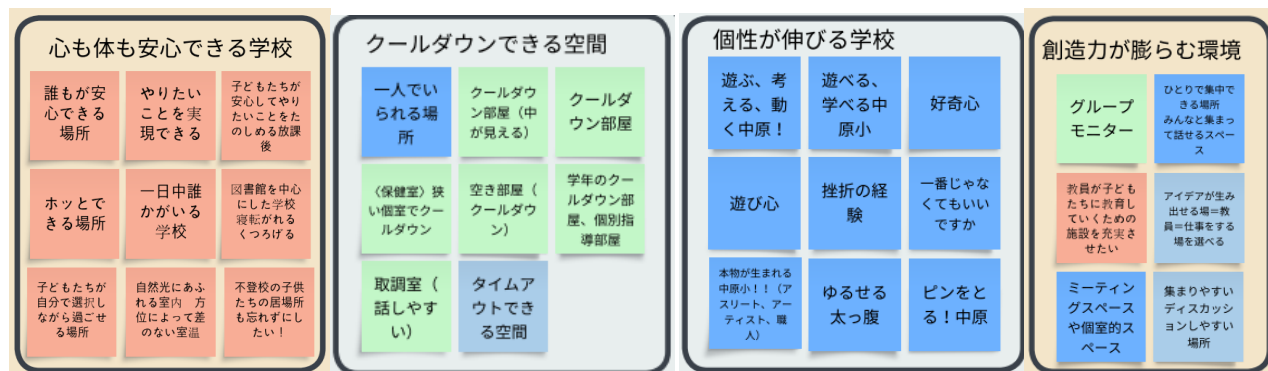
- ◎子どもたちが落ち着いて、自由に柔軟に学習できる施設づくり、快適な学校生活を送ることができる施設づくり。
- ◎学年に合わせて、多様な学習形態が選択できる教室づくり。
- ◎高機能で多機能な施設とするため、電子黒板や全面ホワイトボードの導入、PC室やネット環境の整備など、ICT環境の充実。



② 個々の尊重・個性を伸ばす環境

1. 学びの空間

- ◎子どもたちが、安心して、やりたいことを楽しみ、自分の居場所を選択できる施設づくり。
- ◎豊かなアイディアが生まれるディスカッションスペースや、集中して考えることのできるスペースなど、多様なスペースの配置。
- ◎学ぶことだけでなく、休むことや、遊ぶこと等においても、自分の居場所を作ることができる施設づくり。
- ◎中原らしさを繋ぐ・伝えるモニメントの継承。



③ 自発的な学びにつながる環境

1. 学びの空間

- ◎多様な体験学習を実施できる環境を整えることで、子どもたちの興味関心の幅を広げ、自ら深掘りをしたくなる施設配置や屋外環境の整備。
- ◎子どもたちの好奇心や遊び心を刺激する什器・備品の設置や配置。
- ◎知りたいとき、気づいたとき、やってみたいと思ったときに、行動に移せる書籍の配置や、ICT環境の整備、特別教室の整備等の施設づくり。
- ◎ビオトープや屋上庭園等、環境課題を日常的に体感できる学校づくり。

鷹南の自然と触れ合える学校

一緒に畑仕事	生き物	植物を育てる(ストレス軽減、集中力アップ)
屋上ビオトープ	学習畑(今は少ない!!!)	動物飼育をできるように
自然があつてほしい...	リラックス効果があるため、森林を多くしたい	屋上庭園

発想が育つ什器・備品

冷水器が欲しい	パソコン、教科書等の置ける机のサイズ	四角の机ではなく丸い机	ゆったりソファ	移動しやすい椅子・机
子どものものを収められるロッカー	教科書や本などPC置けるロッカー	子ども大人も使える椅子・机	個別でデスク・チェア・今の机は小さい	PC対応デスク・チェア
学びに適している姿勢をとれる椅子があったりなかったりする部屋	テーブル広く	ディールーム、ソファ、ミニキッチン	椅子に机(キャスター付き)	黒板はレバニ式で上下に動けるが良い
ライトウエアドア	職員室の奥なし(スタンディング)	教科書を立てて開けるロッカー	机のサイズ(大か小どちらか)	(図工・音楽室) 作品と様々なスペースが一致するように
自分の用ロッカー(充電付き)	ランドセルは廊下ではなくロッカーへ大量の収納スペース(下駄箱etc)	ウォーターサーバー	ピクチャーレール	ワゴンが届く
各フロアに備品(文房具、黒板等)置いておく共有スペースがあるとうい	教材類ストックして次年度へ	給食ワゴン近く	椅子をふかふかのものへ	アイボの導入

図書館

図書室 本の読み聞かせ 本の読み聞かせなんたんゲーム アニメーション 音楽(CD)も聴ける	公共図書館	色んな本、雑誌、漫画とかも	地域の方も利用できる図書館
開かれた図書館 自由にとれる	低学年用図書室1,2年の近くに	図書室は独立	
図書室 読める本が読めるスペース、読み聞かせ	図書室を中心にした活動(よみかせサークルなど)	本を読むスタイル 机といす ソファ 寝転んで	

④ 心身ともに、安全・安心に過ごせる場

2. 生活の空間

- ◎個の多様性に配慮し、児童一人ひとりが安心して過ごせる学校を目指し、教室の配置検討や利用方法、室内備品の設置等の施設づくり。
- ◎学校としての学ぶ環境を第一にすることを大切にしながら、地域利用や防災利用の視点に配慮し、総合的な防災機能の向上に向けた整備。
- ◎エレベーターやスロープ、車いす使用者用トイレなどを、適切に配置。

心も体も安心できる学校

誰もが安心してできる場所	やりたいことを実現できる	子どもたちが安心してやりたいことをたのしめる放課後
ホッとできる場所	一日中誰かがいる学校	図書室を中心にした学校 寝転がれるくつろげる
子どもたちが自分で選択しながら過ごせる場所	自然光にあふれる室内 方位によって差のない室温	不登校の子供たちの居場所も忘れずしたい!

安全・安心に生活できる環境

エレベーター設置	すべてバリアフリー エレベーターは必須	エレベーター
けがをしていても移動しやすいエレベーター、バリアフリー	エレベーターが欲しい	バリアフリー エレベーター設置
スロープ エレベーターなどの設置	みんなに配慮されたトイレ	
	誰でもトイレ	見えない工夫トイレ
	トイレの数を増やす	トイレの充実 トイレの数量増を

メリハリの ある安全性

物理的・心理的に安心できる施設	コミュニティスペースで使えるところと教育場所を分ける	ユニバーサルデザイン
セキュリティ 防犯 オープン・コンシテセキュリティ警備の両立	交通の設置 (安全も確保できる。)	通学路の確保 安全な通学路が必要 車道と分業
地域スペースは市用の動線を持つ 学校の授業を邪魔しない	気軽に出入りできる	出入口の位置の検討 横断歩道の整備か

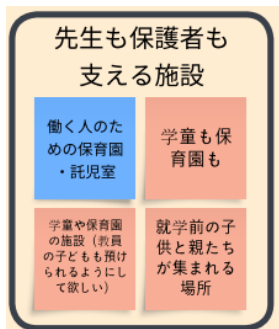
地域を守る学校

深井戸(日常にも防災にも)	地域で使える倉庫・備品	耐震・災害に強い建物
備蓄倉庫の場所 備蓄品の内容	発電 蓄電	防災の練習ができるとうい
地域防災、水、トイレ、電気、大きな電線があるとうい	災害の際に市民の方々が避難してきても困らない施設にして欲しい。	災害に備える
耐震施設	自転車発電(雨の日の運動にもなる。)	振動発電(体育館や地下に設置) 電気代高騰への対策

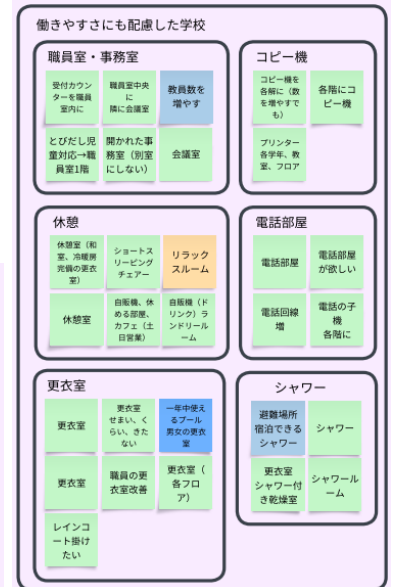
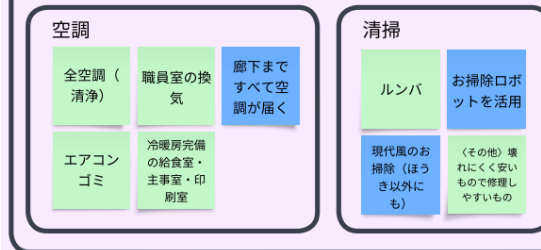
⑤ 過ごしやすさ、働きやすさが尊重される環境

- ◎冷暖房設備の充実や、自然換気に配慮するなど、子どもの学習の場として快適な室内環境。
- ◎子どもの学びの場であると共に、教職員にとって、快適な執務環境となるような配置や設備を整備。
- ◎就学前児童の利用検討や、学童利用の保護者の利便性に配慮し、保護者も支える施設。

2. 生活の空間



快適で健康に配慮された環境



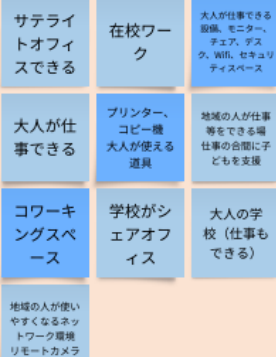
⑥ 機能転換が可能な場

2. 生活の空間

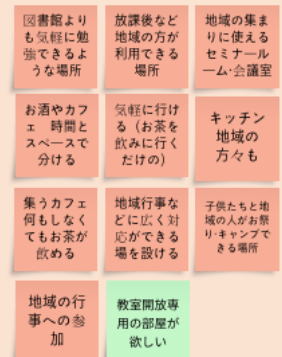
- ◎1クラスだけではなく、複数クラスや学年単位で活動ができる教室づくり。
- ◎多様な学習形態や学校生活に柔軟に対応できる配置計画。
- ◎保護者や地域利用者の働く姿、学ぶ姿、遊びを楽しむ姿を共有し、共に過ごせる場所づくり。
- ◎学童保育所、地域子どもクラブの実施においても、使いやすく、また、授業で使っていない教室等も活用できるような施設づくり。



大人も仕事がしやすい環境



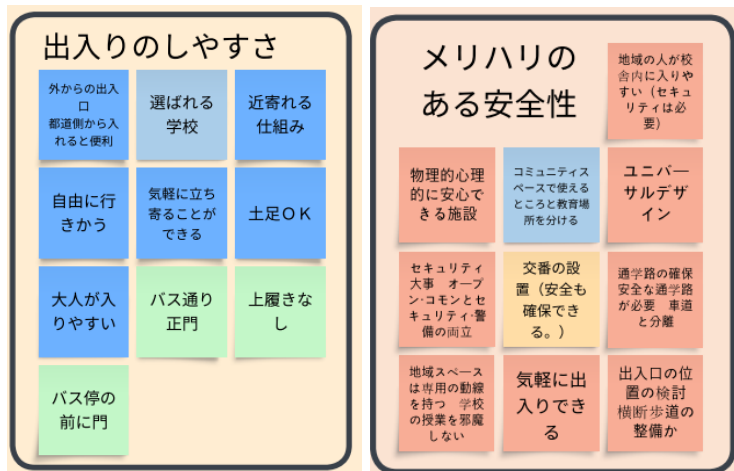
個性あふれるアクティビティ



⑦ 見守りやすい配置・動線

3. 地域交流の空間

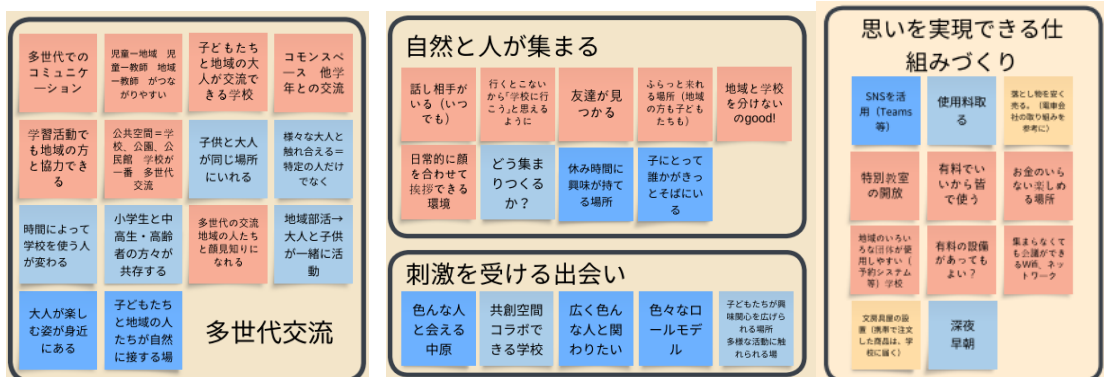
- ◎ 防犯安全性を保つために、見通しのよい入口や、建物による死角を極力減らす工夫を行う等、地域も見守りやすい敷地配置。
- ◎ 学校と地域利用者の動線を明確に分けるなど、学びの場だけではなく、地域交流の場としてスムーズに活用できる施設配置。



⑧ 利用しやすい仕組みづくり

3. 地域交流の空間

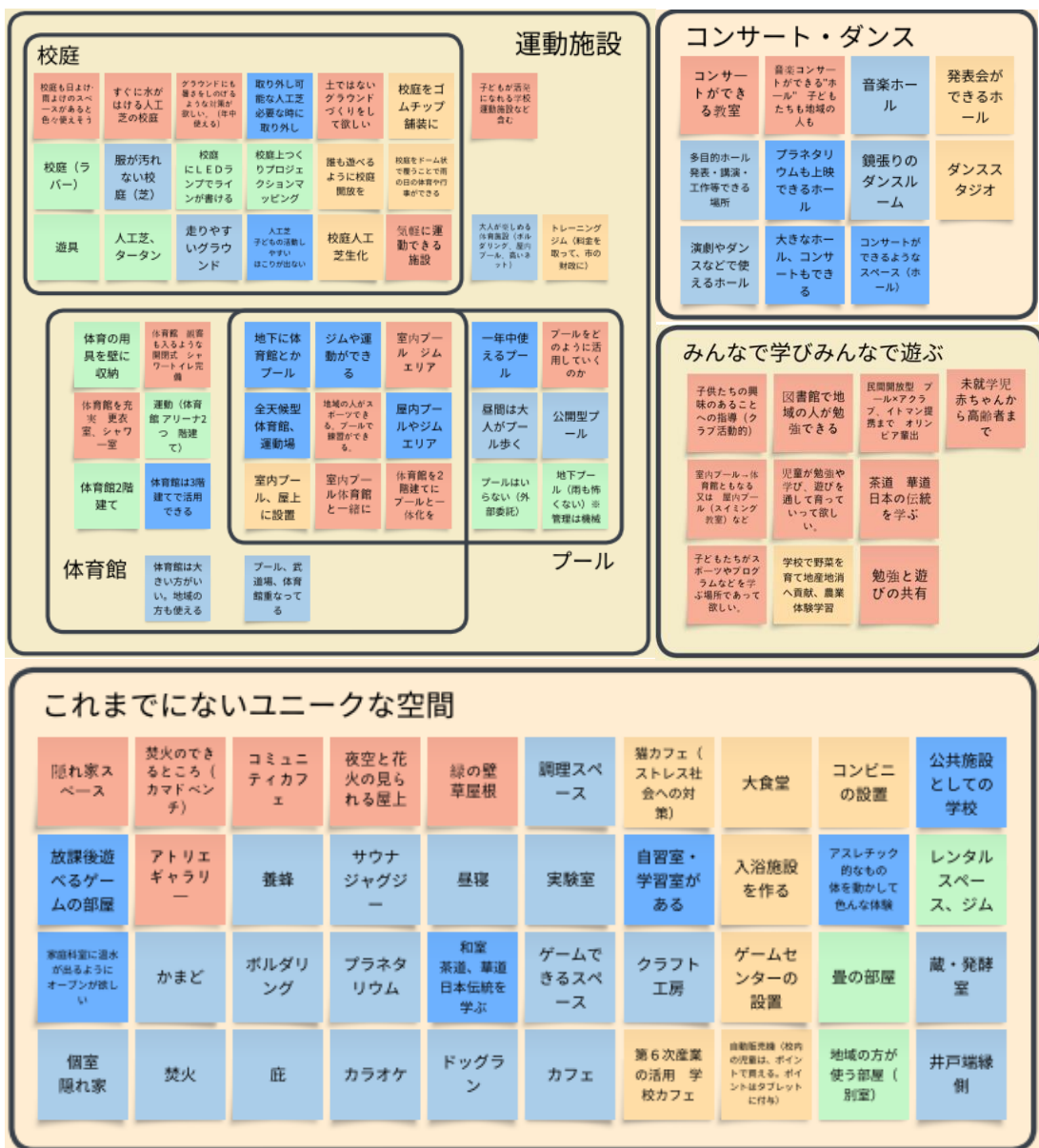
- ◎ 地域の共有地「コモンズ」として、放課後を中心とした学校の授業以外の子どもたちの活動や様々な地域の活動にも活用できる施設づくり。
- ◎ 施設全体の使い方を柔軟に変化できるような施設整備。
- ◎ 子どもたちも地域の人も、日常的に顔を合わせ、活発な交流が生まれる施設づくり。



⑨ 大人も遊び交流する場

3. 地域交流の空間

- ◎子どもからお年寄りまで、地域住民にとっても交流や活動の拠点となる施設づくり。
- ◎子どもたちと地域住民、地域住民同士の交流の場とし、大人も楽しむ空間を整備することで、より豊かな体験ができる学校。
- ◎日中を含め、授業で使っていない特別教室等を地域に開放できるようセキュリティに配慮された施設づくり。
- ◎学校支援ボランティアやPTA活動に参画する人をはじめとする地域の方が滞在・交流できるスペース。



(6) 敷地利用の考え方

建替えにおいて、周辺環境、通学環境や学習環境などへ配慮した校舎や校庭等の配置とするために、三鷹市教育委員会（以下、教育委員会）から示された配置の条件に基づき、意見交換を実施しました。

以下に、配置の条件および配置比較検討資料を示し、各配置に関する意見を記します。
なお、すべての意見や要望は、参考資料を参照ください。

■ 教育委員会から示された配置の条件について

ア. 建物規模

建物規模については、将来の中原小の児童・クラス数を考慮し、18学級を想定して、ボリューム検討を行います。

イ. 建物配置

周辺環境への影響を鑑み、日影、学習騒音などのほか、眺望や視線などプライバシーに係るもの等に配慮した配置計画とします。また、日影の影響について 既存校舎は敷地の北側に位置していますが、建替えの配置によっては、周辺地域の住宅等への影響が見込まれるため、影響の少ない配置を検討します。

ウ. 敷地の入り口

門などの入り口は、児童の安全・安心を第一に考え、見通しがよく、不審者対策に配慮して検討を行います。同時に、通学経路や建物入口の位置のほか、前面道路との接道状況や周辺建物からの視認性にも考慮して定めるものとします。

また、地域利用者にも配慮し、利便性に配慮した配置検討が必要です。

エ. 避難所対応

体育館は災害時の一時避難所となるため、高齢者や要介護者などの使用にも配慮し、原則として地上階（1階）に配置します。浸水対策として、降雨時の冠水状況や接道状況にも配慮し検討します。

また、緊急時の避難、緊急車両の進入等に支障のない施設配置が必要です。

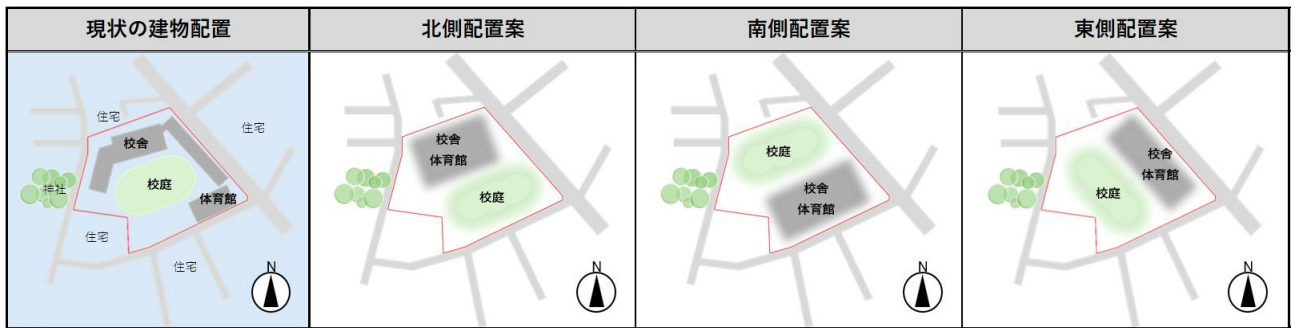
オ. 地域利用・施設開放

学校3部制、地域全体の多様な利用状況に対応できる配置計画が必要です。児童の安全・安心な学習環境を整備するために、学習環境エリアと地域開放エリアは、管理上、明確に区分できる配置を検討します。

■ 配置比較検討

教育委員会より、敷地や配置の条件を考慮した配置比較検討(案)の提示を受け、各配置案に関して意見交換を実施しました。

提示された配置案は「北側配置案」「南側配置案」「東側配置案」の3種になります。
なお、西側配置案は、北側配置案と類似のため、本検討からは除外されています。



【配置案 比較図】

«各配置への意見・要望»

◎ 北側配置案

- ・現状に近いので苦情が少ない
- ・北側校舎だと、日差しが強すぎ、植物が枯れる

◎ 南側配置案

- ・仮設校舎が建てやすい
- ・陽当たりが良いが遮光性の機能が良い建物
- ・南側校舎配置の場合、校庭の日陰は大変、寒さ、水はけ、学習（環境に配慮が必要）
- ・（校庭に校舎の日影が重なるため、）屋上を冬の校庭の代替えに

◎ 東側配置案

- ・校庭に朝は日が当たらず西日があたる
- ・（敷地東側の一部は第一種中高層住居専用地域となっているため、）高い建物として色々な施設がほしい
- ・西陽があたるので、エアコンが効かなくなるのはキツイ、グリーンカーテン（設置希望）

◎ 共通項目

- ・子どもの人数に対応できる教室・空間
- ・コンパクト、シンプルな建物、共有できる
- ・複雑な形はやめたい
- ・入口をわかりやすく
- ・子ども達が仮設で過ごす期間を短く
- ・仮設よりも本体にお金をかけてほしい

2. コンセプト提言までの検討経緯

冒頭に記載の通り、建替え事業に当たっては、基本計画の初期段階から、学校・保護者・地域コミュニティ団体等の意見を反映してもらうために、「三鷹市立中原小学校建替検討委員会」が設置されました。委員会では議論を重ね、多くの意見を収集してきました。

また、学校関係者の意見・要望を確認するために、教育委員会が中原小学校の教職員を対象とした説明会を開催し、併せて、2回のワークショップを実施しました。

その他、児童からも、令和5年度は授業形式で、また、令和6年度はアンケートを実施し、子どもたちの意見や要望を収集しました。

それぞれのワークショップやアンケート等の実施概要を以下に記します。

(1) 検討委員会

・ 三鷹市立中原小学校建替検討委員会 概要

■ 検討委員会 構成

委員数 : 19人

委員構成 : 中原小学校校長、PTA会長、卒業生、新校舎完成時入学予定保護者、学童関係者、地域コーディネーター、中原小学校・第五中学校オヤジの会、鷹南学園コミュニティースクール委員、鷹南倶楽部、中仙川町自治会、新川中原住民協議会、交通安全対策地区委員会、地域ケアネットワーク・新川中原、杏林大学教授



写真2-1. 検討委員会の様子

■検討委員会 活動概要

開催回数	計5回（令和6年度）
開催場所	中原小学校 2階 算数ルーム
グループ構成	・1チーム辺り、4～5名 ・4チーム作成（A～D） ・各回ごとに、メンバーを入れ替えて構成
第1回 (8/23)	【目的】 ・みんなの想いを知る ・近年の学校に求められる機能や学習環境を知る
第2回 (10/23)	【目的】 ・地域の拠点となる学校の事例を知る ・よりよい教育環境となる地域拠点としての学校の在り方を考える 【講義】 ・教育環境研究所 野島氏 「地域の拠点となる学校づくりの事例」 【グループワーク】 ・テーマ①「地域の拠点となる学校ってどんな学校？」
第3回 (12/12)	【目的】 ・これからの学びを支える学校の在り方を考える ・未来の中原小学校を想像しイメージを深掘りする 【講義】 ・東京学芸大学 金子教授 「未来の学校みんなで創ろう」 【グループワーク】 ・テーマ①「これからの学びを支える学校ってどんな学校？」 ・テーマ②「新しい中原小学校ってどんな学校？」
第4回 (1/17)	【目的】 ・中原小建替えにおけるコンセプト案策定に資する意見交換の実施 【グループワーク】 ・テーマ①「コンセプト案について」 【全体討議】 ・テーマ①のまとめを受けて、委員全体での議論
第5回 (2/25)	【目的】 ・中原小学校建替えに向けた基本コンセプト案の決議 ・新しい中原小学校の配置計画を考える 【グループワーク】 ・テーマ「校舎配置案について」

(2) その他

・ 中原小学校 教職員説明会概要

開催日時	令和6年11月14日
参加人数	29人
開催場所	中原小学校 2階 算数ルーム
開催概要	【グループワーク】 ・テーマ① これからの授業の在り方を踏まえた施設とは？ ・テーマ② 先生方の働きやすい学校、柔軟な働き方のできる学校とは？



写真2-2. 教職員説明会の様子

・ 中原小学校 児童意見・アンケート概要

開催日時	第1回（令和5年度）3月 第2回（令和6年度）1月
開催形式	第1回 授業形式 第2回 アンケート形式
回答者数	第1回 6年児童 計37人 第2回 全学年児童 計482人

《検討委員一覧》

氏 名	所属団体 等
鈴木 恭子	中原小学校 校長
麻生 清次	新川中原地区災害対策連合会 会長
井戸 さとみ	中原小学校PTA 会長
池澤 玲奈	新校舎完成時入学予定保護者
岩田 美穂	学童関係者
畝尾 明利	新川中原住民協議会 会長
江畑 孝彦	中原小学校オヤジの会 代表
加藤 雅江	杏林大学教授
菊地 優平	中原小学校卒業生
小阪 光明	中原小学校卒業生
清水 章	中仙川町会 会長
清水 隆治	交通安全対策地区委員会 中原地区 会長
畑谷 貴美子	地域ケアネットワーク・新川中原 代表
松島 眞理	鷹南学園コミュニティ・スクール委員会 副会長
松本 猛	鷹南倶楽部
松本 治子	鷹南学園コミュニティ・スクール委員会 副会長
馬淵 聖二	第五中学校オヤジの会 会長
宮崎 眞由美	地域コーディネーター
吉田 仁	鷹南学園コミュニティ・スクール委員会 会長